

西洋古代史研究

Acta Academiae Antiquitatis Kiotoensis

第 10 号

Tomus X

目 次

《 論 説 》

「背教者」ユリアヌス帝登位の背景

——紀元4世紀中葉のローマ帝国に関する一考察——……………南川高志(1)

前4世紀アテナイにおける通婚禁止令とアポドロロス弁論の女たち……………栗原麻子(23)

《 研究ノート 》

フランツ・キュモン伝に向けて

——研究動向と年譜——……………井上文則(43)

好古家の「ケルト」観

——ケリュス伯とエドワード・ギボン——……………疋田隆康(53)

二つの闘技場を持つ町

——カルヌントゥムとアクインクム——……………佐野光宜(63)

《 史料翻訳・解説 》

オータンのエウメニウスによる学校再建を求める演説……………西村昌洋(75)

《 書 評 》

Sarah B. Pomeroy, *The Murder of Regilla: A Case of Domestic Violence in Antiquity*,
Cambridge, MA: Harvard University Press, 2007……………桑山由文(97)

Debbie Challis, *From the Harpy Tomb to the Wonders of Ephesus: British Archaeologists
in the Ottoman Empire 1840-1880*, London: Duckworth, 2008……………阿部拓児(103)

Maria Kantiréa, *Les dieux et les dieux augustes: le culte impérial en Grèce sous les
Julio-claudiens et les Flaviens: études épigraphiques et archéologiques*,

Paris: Diffusion de Boccard, 2007……………藤井崇(109)

Raymond Van Dam, *Rome and Constantinople: Rewriting Roman History during Late Antiquity*,
Texas: Baylor University Press, 2010……………南雲泰輔(115)

英文要旨……………(129)

コラム：西洋古代史の泉3 オータンのローマ遺跡……………南川高志(131)

編集後記……………南川高志

京 都 大 学

2010

本号の執筆者（執筆順）

南川高志	京都大学大学院文学研究科教授（ローマ史を専攻）
栗原麻子	大阪大学大学院文学研究科准教授（古代ギリシア史を専攻）
井上文則	筑波大学大学院人文社会科学研究科准教授（ローマ史を専攻）
疋田隆康	日本学術振興会特別研究員（ケルト史を専攻）
佐野光宜	京都女子大学等非常勤講師（ローマ史を専攻）
西村昌洋	龍谷大学非常勤講師（ローマ史を専攻）
桑山由文	京都女子大学文学部准教授（ローマ史を専攻）
阿部拓児	ライデン大学客員研究員 / 日本学術振興会海外特別研究員 (古代ギリシア史を専攻)
藤井崇	オクスフォード大学客員研究員 / 日本学術振興会海外特別研究員 (ヘレニズム・ローマ史を専攻)
南雲泰輔	京都大学大学院博士後期課程 / 日本学術振興会特別研究員 DC (ローマ史・初期ビザンツ史を専攻)

編集後記

『西洋古代史研究』の第10号をお届けします。寄稿者の協力を得ながらも、執筆依頼、編集、そして校正から完成品の寄贈・発送まで一人でやって来た編集者としては、何とか当初の目標、第10号を刊行することができ、感慨深いものがあります。当初はニューズレターのようなものを考えていましたが、第2号からは京都大学大学院文学研究科西洋史学専修で古代史を学ぶ者の年次活動報告書としたため、書き手は私と私の主宰する授業「西洋古代史演習」の参加院生、ならびにかつての演習参加者で研究を続けておられる方々に限られたため、書き手を得ることがまずたいへんでした。ほとんどの書き手は、伝統ある学会誌に論文を書かねばならない若手研究者ですが、皆さん学会誌に加えて本誌のためにも寄稿してくれ、感謝しています。今号は、第10号を記念して、都合のつく方にはできるだけ何らかの寄稿をしてくださるようお願いしましたが、おかげさまでこれまでにない厚いものができました。前号まで、例外的なゲスト寄稿者として、私が京都大学に招聘したり共同研究したりした外国人研究者の寄稿を毎号1編掲載してきましたが、今回は寄稿が多いことを勘案してこの企画は控えました。1研究室の活動報告書とはいえ、本誌は学界でも認めていただけるようになったので、次年度からも新たな気持ちで刊行を継続してゆきたいと思っています。ただ、時代状況を勘案して、次年度中には京都大学附属図書館の学術情報リポジトリ KURENAI (<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/>) に登録して、第2号から最新号までをインターネット上で読んでいただけるようにする予定です。今後とも御一読、御検討くださいますようお願いいたします。

(南川高志)

平成22年12月22日発行

西洋古代史研究 第10号

発行者 京都大学大学院文学研究科 南川高志

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL. 075-753-2779

印刷 株式会社田中プリント

〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町東入
石不動之町677-2

TEL.075-343-0006

Acta Academiae Antiquitatis Kiotoensis

The Kyoto Journal of Ancient History

Tomus X

Vol. 10

Articles:

- Julian in Gaul Takashi MINAMIKAWA (1)
- The Case of Archippe: The Prohibition of Mixed Marriage in Fourth-Century B.C.E. Athens
..... Asako KURIHARA (23)

Research Notes:

- Some Preliminary Studies on the Biography of Franz Cumont Fuminori INOUE (43)
- Concepts of the Ancient Celts in Antiquary Takayasu HIKIDA (53)
- Where Two Amphitheaters Were Built: Carnuntum and Aquincum Mitsuyoshi SANO (63)

Translation and Commentary:

- Eumenius of Autun and his Speech for the Restoration of the School of Rhetoric:
Translation of *Pan. Lat. IX (V)* Masahiro NISHIMURA (75)

Book Reviews:

- Sarah B. Pomeroy, *The Murder of Regilla: A Case of Domestic Violence in Antiquity*,
Cambridge, MA: Harvard University Press, 2007 Tadafumi KUWAYAMA (97)
- Debbie Challis, *From the Harpy Tomb to the Wonders of Ephesus: British Archaeologists
in the Ottoman Empire 1840-1880*, London: Duckworth, 2008 Takuji ABE (103)
- Maria Kantiréa, *Les dieux et les dieux augustes: le culte impérial en Grèce sous les
Julio-claudiens et les Flaviens: études épigraphiques et archéologiques*, Paris:
Diffusion de Boccard, 2007 Takashi FUJII (109)
- Raymond Van Dam, *Rome and Constantinople: Rewriting Roman History during Late
Antiquity*, Texas: Baylor University Press, 2010 Taisuke NAGUMO (115)

English Summary (129)

Column Takashi MINAMIKAWA (131)

Editor's Notes Takashi MINAMIKAWA

Kyoto University

2010